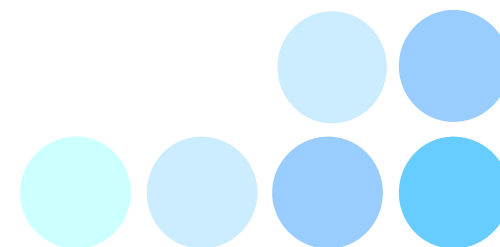




平成19年(2007年)3月期
第3四半期業績概況
～投資家様向け説明会～

2007年1月31日
オムロン株式会社



目次

2007年3月期 第3四半期業績概況説明会

1. エグゼクティブサマリー	P. 4
2. 第3四半期業績概況	P. 6
3. 通期業績見通し	P. 21
4. 重点戦略進捗状況	P. 24

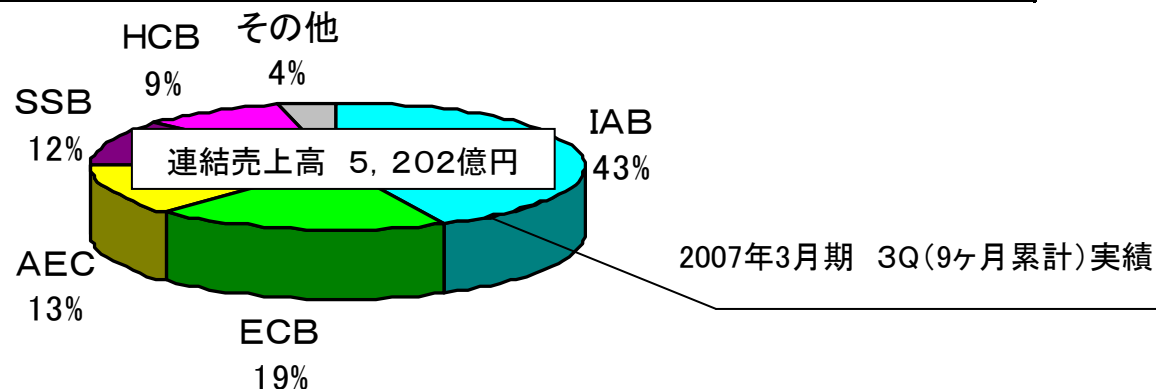
<注意事項>

1. 四半期業績数値については、監査法人によるレビューを受けておりません。
2. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
3. 連結子会社数は158社、持分法適用関連会社数は22社です。
4. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。
実際の業績等に影響と与える重要な要因には、(i) 当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii) 当社製品・サービスに対する需要動向、(iii) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv) 資金調達環境の大幅な変動、(v) 他社との提携・協力関係、(vi) 為替・株式市場の動向などがあります。
なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。



主要事業／主要製品／売上高構成

制御機器／FAシステム	インダストリアルオートメーションビジネス
IAB	: センシング機器、コントロール機器、セーフティ機器 各種検査装置 等
電子部品	エレクトロニクスコンポーネンツビジネス
ECB	: リレー、スイッチ、コネクタ、液晶バックライト、アミューズメント機器用部品 モバイル機器搭載部品、光通信部品 等
車載電装部品	オートモティブエレクトロニックコンポーネンツビジネス
AEC	: キーレスエントリーシステム、パワーウィンドウスイッチ、車載用リレー レーザーレーダー、タイヤ空気圧モニタリングシステム 等
公共システム	ソーシャルシステムズビジネス
SSB	: 自動改札機、自動券売機、道路情報提供システム セキュリティマネジメントシステム、顔認識システム 等
健康機器	ヘルスケアビジネス
HCB	: 電子血圧計、体組成計(体脂肪計)、電子体温計、歩数計 ネブライザー、業務用電子血圧計、健康サービス事業 等
その他	
その他	: パソコン周辺機器、RFID、業務用ゲーム機 携帯端末向け情報サービス 等



1. エグゼクティブサマリー



2007年3月期はグランドデザイン2010(GD2010)の第2ステージ(2004年4月～2008年3月)の最終マイルストーン

2008年3月期業績目標に成長前倒しで迫り「増益基調での成長加速」を図る

第3四半期業績概況とポイント

* 数値には、M&A(旧パイオニア精密、旧STI)を含む

■売上高・営業利益・税前利益・純利益において第3四半期累計期初計画を上回る

(連結業績)	実績	前年同期比	期初計画比	
売上高	5,202億円	117.5%	103.1%	
営業利益	424億円	96.4%	107.4%	(営業利益率 8.2%)
税前利益	493億円	104.7%	118.7%	(税前利益率 9.5%)
純利益	274億円	104.6%	114.1%	(純利益率 5.3%)

■連結売上高:前期比18%増加は、為替影響、M&Aなどが主要因

■営業利益:前期比4%減少は、前期に代行返上益(119億円)を計上していたことによる。
代行返上を除くと、前期比32%増加(詳細は差異分析 P10参照)

期初計画比7%増加は、為替影響、研究開発費の削減が主要因(詳細は差異分析 P11参照)

■税前利益:期初計画比19%増加は営業利益の増加に加え、退職給付信託設定益などによる営業外収益計上

■事業状況:売上は堅調に推移。利益面ではAECが第3四半期で回復傾向。

通期業績見通しとポイント

* 数値には、M&A(旧パイオニア精密、旧STI)を含む

■既公表値どおり(10月30日発表の修正値)を見込む

(連結業績見通し)	通期	前年同期比	
売上高	7,400億円	118.1%	
営業利益	630億円	101.4%	(営業利益率 8.5%)
税前利益	650億円	101.0%	(税前利益率 8.8%)
純利益	375億円	104.9%	(純利益率 5.1%)

2. 第3四半期業績概況



売上高5,202億円 営業利益率8.2%
 営業利益は為替影響や研究開発費の減少で原材料費高騰分をカバー

全社P/L (9ヶ月累計)	(億円)				
	2006/3期 12月 実績	2007/3期 12月 実績	前年同期比 増減 %	2007/3期 12月 期初計画	期初計画比 増減 %
売上高	4,428	5,202	117.5%	5,045	103.1%
売上総利益	1,794	2,019	112.5%	2,045	98.7%
販管費	1,110	1,226	110.4%	1,230	99.6%
R&D費	363	369	101.6%	420	87.9%
代行返上益	119	-		-	
営業利益	440	424	96.4%	395	107.4%
税引後利益	471	493	104.7%	415	118.7%
税引後利益	262	274	104.6%	240	114.1%
<為替> (円)					
USDレート	112.2	116.3	4.1	110.0	6.3
EURレート	137.3	148.2	10.9	135.0	13.2

国内外ともに期初計画をクリア
セグメント別では、特にECB(電子部品)、AEC(車載)が期初計画を上回る

(億円)

国内/海外	2006/3期 12月 実績	2007/3期 12月 実績	前年同期比 増減 %	2007/3期 12月 期初計画	期初計画比 増減 %
国内	2,482	2,714	109.4%	2,704	100.4%
海外*	1,946	2,488	127.8%	2,341	106.3%
合計	4,428	5,202	117.5%	5,045	103.1%

* 直接貿易は海外に含む

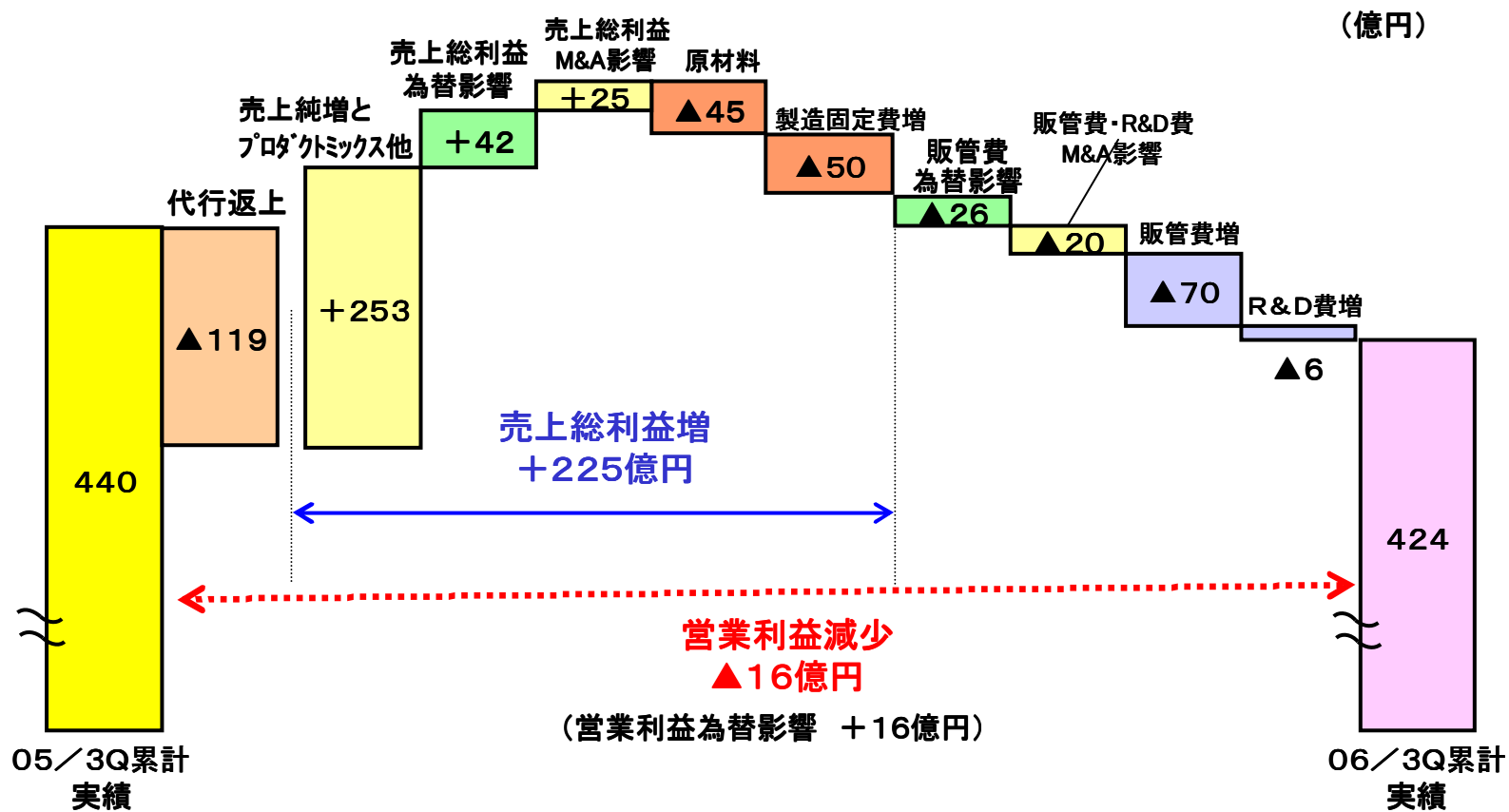
事業別	実績	実績	%	期初計画	%
IAB	1,990	2,223	111.7%	2,225	99.9%
ECB	720	1,012	140.5%	860	117.7%
AEC	556	673	121.1%	660	102.0%
SSB	522	606	116.1%	635	95.5%
HCB	449	483	107.6%	490	98.6%
その他	191	205	107.5%	175	117.1%
合計	4,428	5,202	117.5%	5,045	103.1%

車載電装品(AEC)以外は期初計画を上回る

(億円)

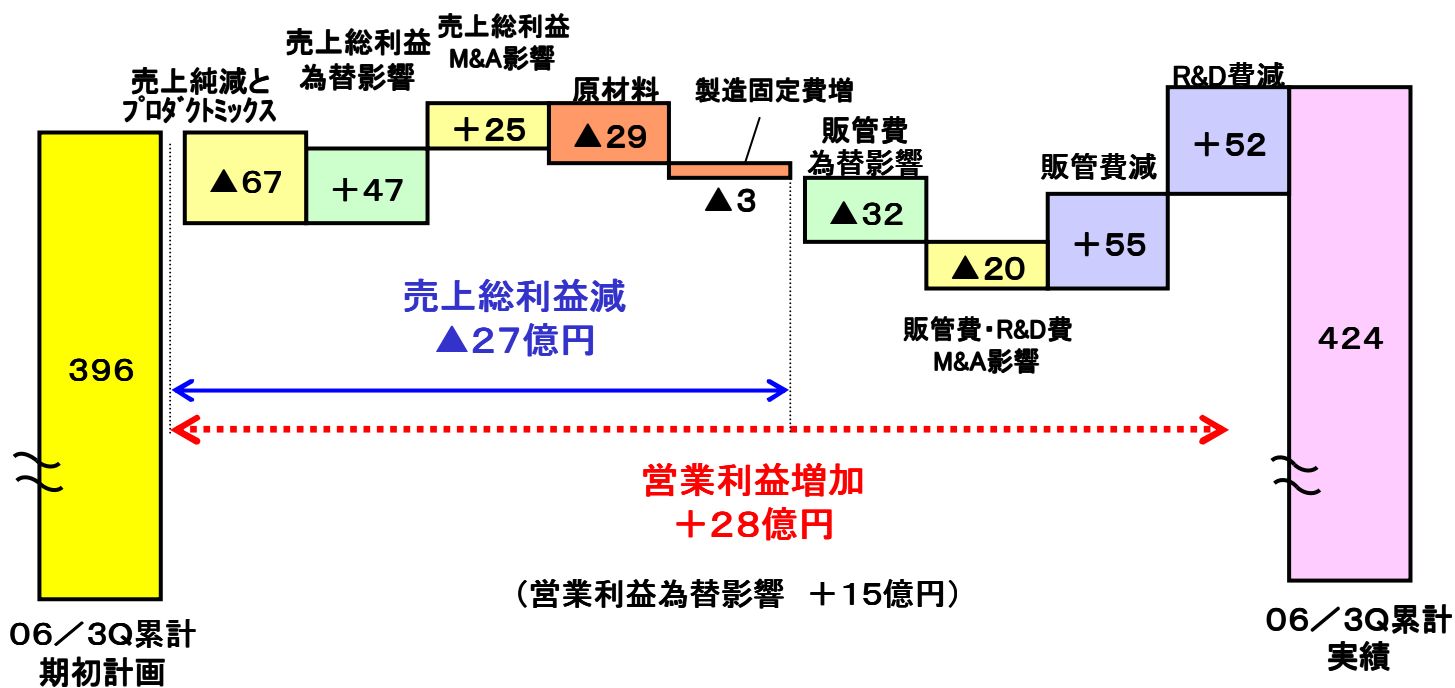
事業別	2006/3期 12月 実績	2007/3期 12月 実績	前年同期比 増減 %	2007/3期 12月 期初計画	期初計画比 増減 %
IAB	312	352	112.9%	352	100.0%
ECB	84	99	117.6%	94	105.0%
AEC	▲ 11	▲ 14	-	14	-
SSB	▲ 26	24	-	7	340.6%
HCB	64	59	92.4%	57	104.4%
その他／本社費他消去	▲ 102	▲ 96	-	▲ 129	-
代行返上益	119	-	-	-	-
合計	440	424	96.4%	395	107.4%

前期の代行返上益分をほぼ吸収し、実質増益確保
代行返上除くと32%増益



原材料費の高騰を為替影響でカバーするとともに
研究開発費の減少で営業利益は計画を上回る

(億円)

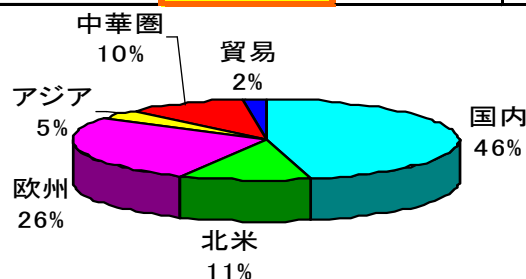


売上高2,223億円、営業利益率15.8%
欧米の堅調持続で、売上高はほぼ期初計画どおりに進捗

(億円)

IAB	2006/3期	2007/3期	前年同期比 増減 %	2007/3期	期初計画比 増減 %
	12月 実績	12月 実績		12月 期初計画	
国内売上高	996	1,031	103.5%	1,060	97.3%
海外売上高	994	1,192	119.9%	1,165	102.3%
北米	181	248	137.2%	220	112.7%
欧州	504	586	116.3%	535	109.5%
アジア	91	101	110.7%	105	96.0%
中華圏	182	213	116.8%	255	83.4%
貿易分	36	44	121.8%	50	88.3%
売上総合計	1,990	2,223	111.7%	2,225	99.9%
営業利益	312	352	112.9%	352	100.0%
営業利益率	15.7%	15.8%		15.8%	

地域別売上構成比



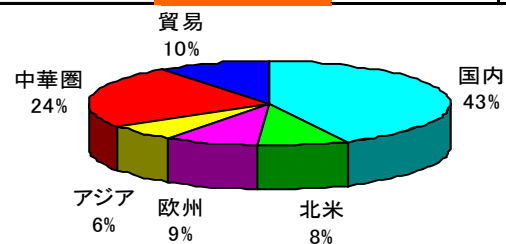
売上高1,012億円、営業利益率9.7%
リレー、スイッチ等が堅調に推移
中華圏、貿易分の伸びは主としてM&Aによるもの

(億円)

ECB	2006/3期	2007/3期	前年同期比 増減 %	2007/3期	期初計画比 増減 %
	12月 実績	12月 実績		12月 期初計画	
国内売上高	349	433	124.1%	400	108.3%
海外売上高	371	579	156.1%	460	125.8%
北米	72	83	116.0%	81	102.9%
欧州	91	87	94.5%	79	108.8%
アジア	45	62	137.8%	52	119.9%
中華圏	102	242	237.9%	184	131.7%
貿易分	61	105	172.0%	64	164.0%
売上総合計	720	1,012	140.5%	860	117.7%

営業利益	84	99	117.6%	94	105.0%
営業利益率	11.6%	9.7%		10.9%	

地域別売上構成比

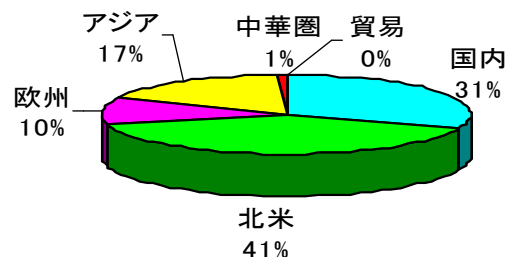


売上高673億円、営業利益マイナス
北米拠点の生産性改善が進み、第3四半期(10-12月)では黒字回復

(億円)

AEC	2006/3期	2007/3期	前年同期比 増減 %	2007/3期	期初計画比 増減 %
	12月 実績	12月 実績		12月 期初計画	
国内売上高	201	208	103.7%	200	104.0%
海外売上高	355	465	130.8%	460	101.0%
北米	202	273	135.2%	261	104.5%
欧州	45	70	156.3%	74	94.9%
アジア	109	116	106.4%	119	97.1%
中華圏	0	6	-	6	103.5%
貿易分	0	0	-	0	-
売上総合計	556	673	121.1%	660	102.0%
営業利益	-11	-14	-	14	-
営業利益率	-	-	-	2.1%	-

地域別売上構成比

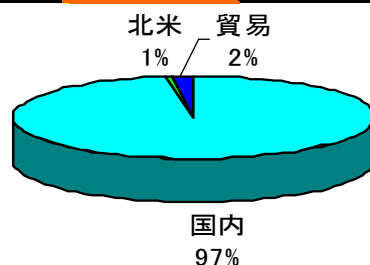


売上高606億円、期ズレの影響で計画比マイナス
営業利益は構造改革効果により計画を大幅に上回る

(億円)

SSB	2006/3期	2007/3期	前年同期比 増減 %	2007/3期	期初計画比 増減 %
	12月 実績	12月 実績		12月 期初計画	
国内売上高	515	592	114.9%	612	96.7%
海外売上高	7	14	201.8%	23	63.4%
北米	1	3	219.3%	3	102.3%
欧州	0	0	-	0	-
アジア	0	0	-	0	-
中華圏	0	0	-	0	-
貿易分	6	11	198.3%	20	57.6%
売上総合計	522	606	116.1%	635	95.5%
営業利益	-26	24	-	7	340.6%
営業利益率	-	3.9%		1.1%	

地域別売上構成比

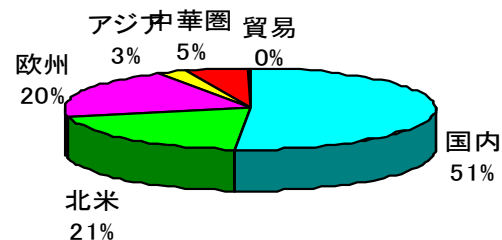


売上高483億円、営業利益率12.3%
海外売上は欧州・アジアが牽引し堅調に推移

(億円)

HCB	2006/3期	2007/3期	前年同期比 増減 %	2007/3期	期初計画比 増減 %
	12月 実績	12月 実績		12月 期初計画	
国内売上高	232	249	107.1%	257	96.8%
海外売上高	216	234	108.3%	233	100.5%
北米	110	99	90.5%	114	87.1%
欧州	72	94	131.7%	77	122.6%
アジア	12	14	110.8%	10	137.5%
中華圏	21	25	120.1%	29	86.8%
貿易分	1	2	103.4%	3	50.0%
売上総合計	449	483	107.6%	490	98.6%
営業利益	64	59	92.4%	57	104.4%
営業利益率	14.3%	12.3%		11.6%	

地域別売上構成比



売上債権の増加、事業買収や為替影響に伴う在庫増などにより総資産が増加
短期借入金の増加はM&A対応によるもの

(億円)

連結B/S	2005年12月	2006年3月	2006年12月
総資産	5,571	5,890	6,241
現預金	497	523	510
売上債権	1,128	1,363	1,475
在庫	818	750	1,085
その他流動資産	238	288	314
固定資産	1,631	1,676	1,576
投資その他資産	1,259	1,291	1,281
総負債	1,942	2,261	2,503
短期借入金	149	28	466
長期借入金	13	10	5
その他負債	1,780	2,223	2,032
資本	3,629	3,629	3,738

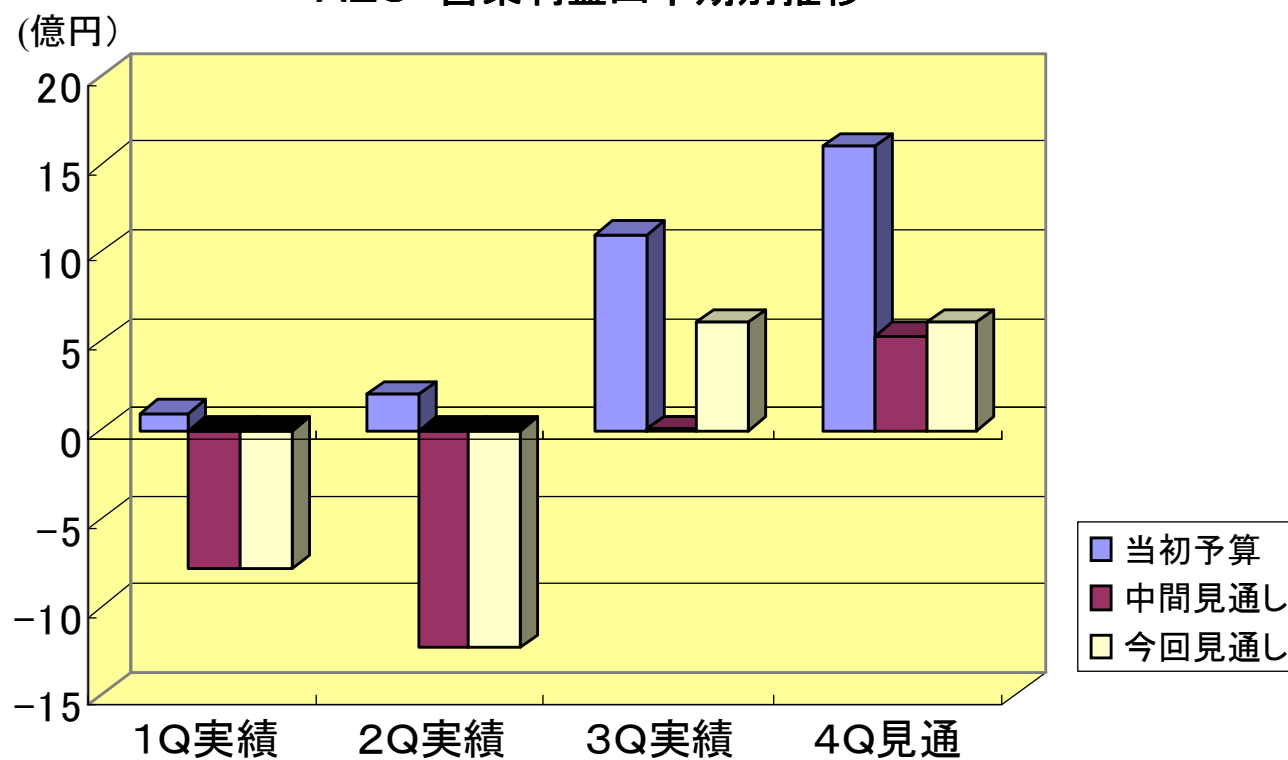
将来に向けた事業買収などにより
投資キャッシュフローは341億円の支出

(億円)

連結CF	2005年 12月	2006年 12月	(参考) 2006年3月
営業活動によるキャッシュフロー	248	102	517
投資活動によるキャッシュフロー	▲313	▲341	▲430
FCF	▲65	▲239	87
財務活動によるキャッシュフロー	▲263	219	▲383
換算レート変動の影響	19	7	13
期中の増減額	▲309	▲13	▲283
期末の現金残高	497	510	523

第4四半期の想定値を第3四半期に前倒して達成
着実に収益回復傾向

AEC 営業利益四半期別推移



収益改善緊急対策については、ほぼ計画どおりに進行中
さらなる収益改善に向けて取組みを継続

2006年度内緊急対策の進捗状況

AECテーマ

- ① VA/VEによるコストダウン
→ 今年度成果は金額で2/3程度コストダウン見込み
- ② 値上げ
→ 目標として中間時点で見込んでいた今年度の値上げ目標は確保
- ③ 北米からの生産移管
→ 一部商品の日本国内への生産移管、出荷スタート
現地生産性改善を加速し、人員削減調整を今後実施していく
- ④ 生産性の改善
→ 客先への納期遵守率が計画をクリアするなど改善が進んでいるが、さらに改善を継続する

コーポレートテーマ

- ⑤ リレー事業の収益基盤再構築プロジェクト
→ 全社的なP/Jを発足させ、BCを横断しての活動を展開開始
主力リレーで改善が進む
- ⑥ 現地生産から最適地生産への業務プロセス改革
→ ほぼ計画どおりに進行中
- ⑦ プロダクト・ライフサイクル・マネージメントへの変革
→ 原価低減活動は取り組み中

3. 通期業績見通し



売上高、営業利益ともに既公表値どおりを見込む

(億円)

	06/3期 通期 実績	07/3期 通期 見通し	前年比 増減 %	07/3期 通期 期初計画	計画比 増減 %
売上高	6,268	7,400	118.1%	7,000	105.7%
売上総利益	2,534	2,860	112.9%	2,820	101.4%
販管費	1,527	1,710	112.0%	1,635	104.6%
R&D費	505	520	103.0%	555	93.7%
代行返上益	119	-	-	-	
営業利益	621	630	101.4%	630	100.0%
税前利益	644	650	101.0%	650	100.0%
当期純利益	358	375	104.9%	375	100.0%

(円)

USDレート	113.4	116.0	2.6	110.0	6.0
EURレート	138.2	148.6	10.4	135.0	13.6

国内外、各セグメントともに既公表値どおりを見込む

(億円)

国内／海外	2006/3期 通期 実績	2007/3期 通期 見通し	前年比 増減 %	2007/3期 通期 期初計画	当初計画比 増減 %
国内	3,549	3,880	109.3%	3,765	103.1%
海外*	2,719	3,520	129.4%	3,235	108.8%
合計	6,268	7,400	118.1%	7,000	105.7%

* 直接貿易は海外に含む

事業別	実績	見通し	%	期初計画	%
IAB	2,727	3,075	112.8%	2,980	103.2%
ECB	977	1,455	148.9%	1,215	119.8%
AEC	776	925	119.2%	910	101.6%
SSB	918	1,025	111.7%	990	103.5%
HCB	611	670	109.7%	665	100.8%
その他	259	250	96.4%	240	104.2%
合計	6,268	7,400	118.1%	7,000	105.7%

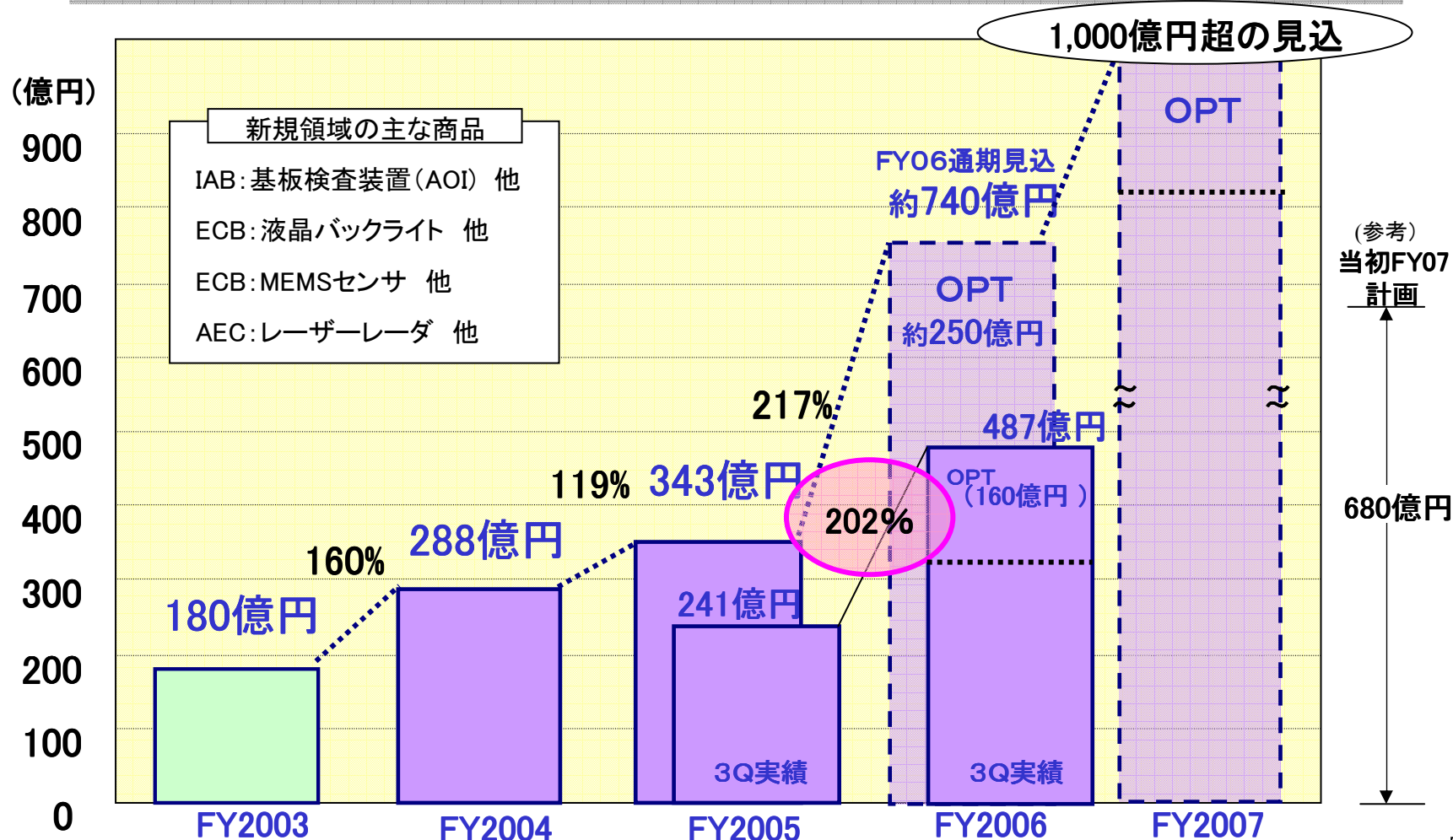


4. 重点戰略進捗狀況

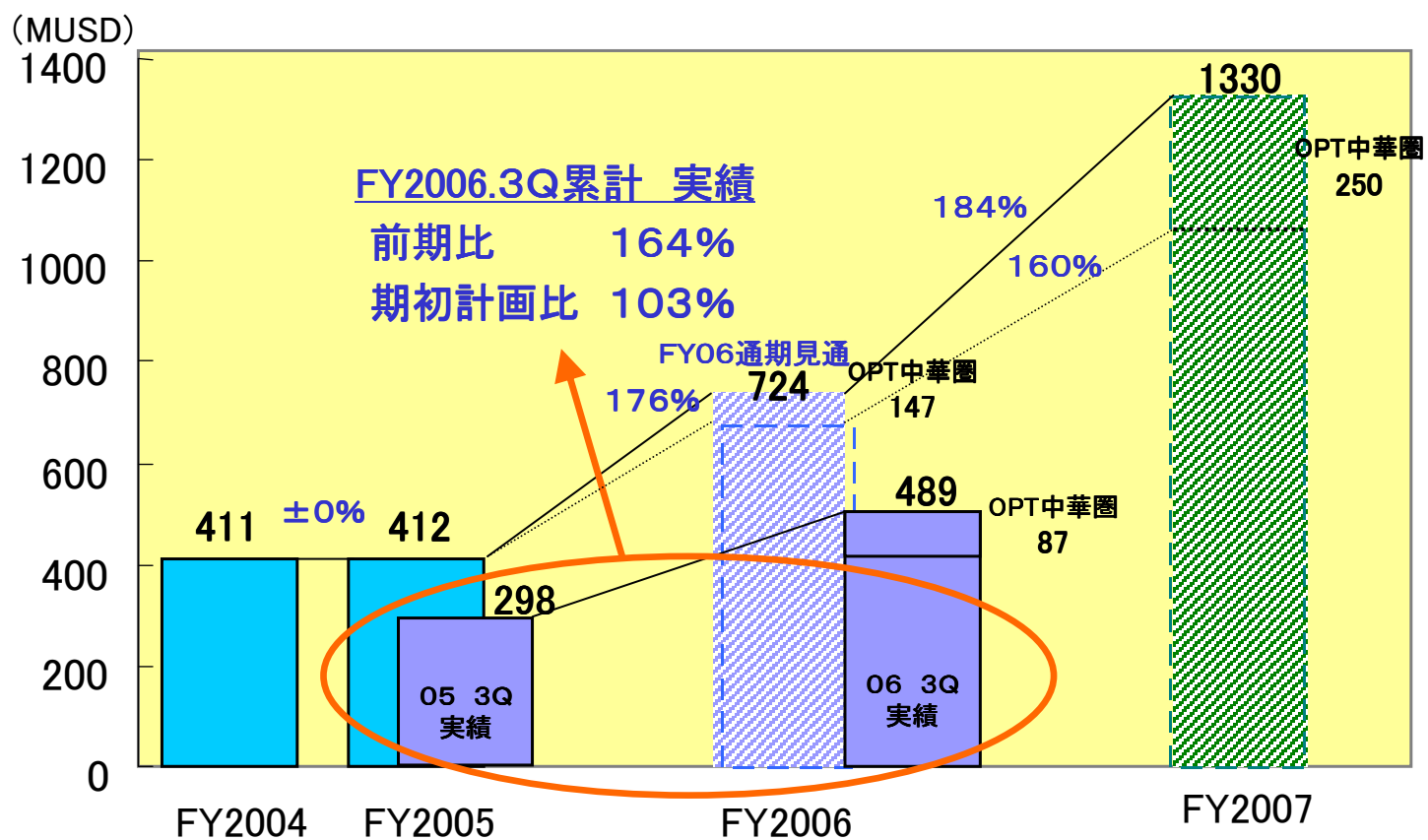


重点戦略の進捗状況 (1)新規領域の売上成長

オムロンプレジジョンテクノロジー(OPT:旧パイオニア精密)の寄与により前期比大幅増加
GD第2ステージ最終年度(2007年度)には1,000億円超を目指す



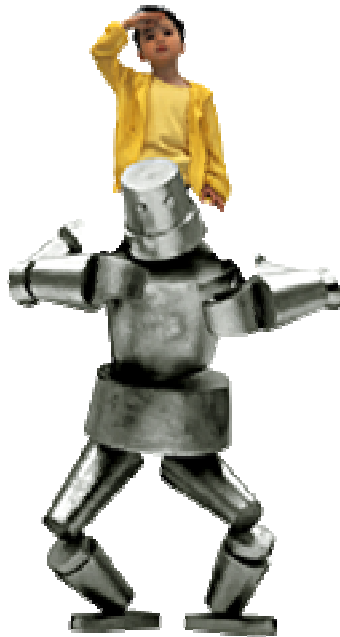
オムロンプレジジョンテクノロジーの売上が大幅に寄与
第3四半期累計で前期比164%、期初計画比103%





人と機械のベストマッチングをめざして

オムロン株式会社



＜お問い合わせ＞

財務IR室 経営IR部

電話: 03-3436-7170

Email: omron_ir@omron.co.jp

HPアドレス: www.omron.co.jp

